

各務原市立川島小学校で防災講座を行いました

令和5年11月8日（水）、各務原市立川島小学校で5年生約130名に防災講座を行いました。この小学校では7月の6年生に続き今年度2回目の講座です。学校は木曾川と南派川に挟まれ、昔から水害に悩まされた地域です。

講座では、昭和51年9.12豪雨災害など過去に発生した水害などを学び、映像で浸水を疑似体験した後、その振り返りとして、「歩くことができる浸水の深さは何cm？」など水害についてのクイズを行いました。とても元気の良い児童たちで大いに盛り上がり、130人の〇×クイズは圧巻でした。

また、この地域特有の水害対策である「ごんぼ積み」と呼ばれる石垣で高くした家屋を多くの児童が認識しており、文化の継承が伺えます。

最後に「実験などで災害の仕組みが良くわかったし、わかりやすいなあと思いました」など実験の楽しさが伝わる感想を数名が発表してくれました。5年生は理科で「流れる水のはたらき」を学習したそうで、今回の講座が理解の深まりに繋がっていただければ幸いです。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。



ごんぼ積み